

『詳説世界史』(世探704) 教師用指導書授業実践編 正誤表

頁	箇所	誤	正	備考
46	史料Q解答例	195・196条が明確な復讐法で あり、	195・196条が復讐法であり、と くに196条には	
72	史料「九品中正」6~7行目	趙翼『二十二史新記』	趙翼『二十二史箇記』	
74	地図解説「7世紀のアジアと大運河」7行目	「タラス」や「白村江」は、	「白村江」は、	
97	解答例（小見出し）2行目	多数の非ドーリア系征服民	多数の非ドーリア系被征服民	
167	解答例（小見出し）3行目	統一感をもっていたから	統一感をもっていたから。	
197	図版「南蛮屏風」7行目	貿易と <u>交易</u> が一体	貿易と <u>布教</u> が一体	
210	解答例（小見出し）2行目	ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融合	ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融和	
221	第11章の視点 「北欧と東欧の動向」 右段・18行目	マリア==テレジア	マリア=テレジア	
237	解説「審査法の評価」 13行目	(信仰が自由化)されたこと	(信仰が自由化された)こと	
272	1節Q解答例 8行目	自族自立を求めて	民族自立を求めて	
307	解答例（小見出し） 2~3行目	南京条約により5港の開港や協定関税制を認めさせた。	南京条約およびその後の追加条約により5港の開港や協定関税制などを認めさせた。	

322	地図解説「19世紀末以後のアジア・アフリカにおける植民地化に対する抵抗運動」	【アンディジャンでの反ロシア蜂起(1898年)】の解説を全て削除し、右の修正文に差し替え	【中央アジア 反ロシア民衆蜂起(1916年)】 第一次世界大戦のさなか、ロシアが中央アジアの諸州に数十万単位の戦時動員をかけたことを機におこった、ムスリム民衆による大規模な反乱。背景には、遊牧民地域へのロシア人の入植(土地の奪取)など、植民地統治に対する不満があった。反乱は南部の定住民地域から北部の遊牧民地域に拡大し、とくにキルギス地域ではキルギス人と入植者の相互に殺戮がおこり、25～30万人のキルギス人が中国領内に逃亡した。1916年末までに反乱はロシア軍に鎮圧されが、これはロシアの戦時体制に打撃を与えて翌17年のロシア革命に道を開き、植民地支配からの解放というムスリムの政治的覚醒の契機ともなった。(『中央ユーラシア史(新版世界各国史4)』山川出版社参照)	
362	解答例（小見出し）5～6行目	<u>大規模な公共事業で失業者を減らし、福祉事業の整備や</u>	<u>軍需工業の拡張で失業者を減らし、公共事業の成果も喧伝した。</u> <u>また、福祉事業の整備や</u>	
371	解説「日本占領下の東南アジア」39行目	ベトナム独立同盟	ベトナム独立同盟会	
390	解答例（小見出し）1行目	アジア・アフリカ会議	アジア=アフリカ会議	
398	解説「全欧安全保障協力会議(CSCE)」19・21行目	<u>欧洲安全保障協力機構</u> 旧ユーゴスラヴィアの共和国も加え、55カ国になっている。	<u>全欧安全保障協力機構</u> 旧ユーゴスラヴィアの共和国 <u>など</u> も加え、 <u>2014年現在57</u> カ国になっている。	
422	4節Q解答例 11行目	伝統的な価値観への見直し	伝統的な価値観に対する見直し	

※教科書の訂正につきましては、弊社のインターネットホームページ
[\(<https://www.yamakawa.co.jp/textbook>\)](https://www.yamakawa.co.jp/textbook) の「教科書の訂正内容のお知らせ」より
 ご確認ください。